

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)

【公開番号】特開 2003-207007 (P2003-207007A)
【公開日】平成 15 年 7 月 25 日 (2003.7.25)
【出願番号】特願 2002-8349 (P2002-8349)
【国際特許分類第 7 版】
F 1 6 H 15/38
【F I】
F 1 6 H 15/38

【手続補正書】
【提出日】平成 16 年 10 月 22 日 (2004.10.22)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項 3
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項 3】

前記変位軸の枢支軸部には、前記第二ラジアル軸受の前記枢支軸部の軸線方向への移動を規制するストッパ部が前記枢支軸部に一体に形成されていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のトロイダル型無段変速機。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 2
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 3 2】

また、本実施の形態では、パワーローラ 8 の挿入孔 8 b の開口を塞ぐ底板部 4 1 を設けているので、挿入孔 8 b を貫通孔にした場合に比べて、パワーローラ 8 の変形が抑制される。したがって、スラスト軸受 2 6 の玉 2 9 にかかる荷重が略均一となるため、スラスト軸受 2 5 における動力伝達の損失が低減し、スラスト軸受 2 6 による動力の伝達が円滑に行われる。

また、パワーローラ 8 の変形が抑制されるので、駆動時に入力ディスク 2 および出力ディスク 4 と、パワーローラ 8 との接触点の位置がずれ難くなるため、入力ディスク 2 から出力ディスク 4 への動力伝達の損失が低減し、入力ディスク 2 から出力ディスク 4 への動力伝達が円滑に行われる。

さらに、パワーローラ 8 の変形の抑制に伴って挿入孔 8 b の変形も抑制されるので、この挿入孔 8 b の内周面と第二ラジアル軸受 2 5 とが略平行な状態となり、挿入孔 8 b の内周面と第二ラジアル軸受 2 5 とが略均一に接触する。したがって、挿入孔 8 b に対する第二ラジアル軸受 2 5 の抵抗が小さくなるため、第二ラジアル軸受 2 5 における動力伝達の損失が低減し、第二ラジアル軸受 2 5 による動力伝達が円滑に行われる。